

行政評価事務事業一覧

【まちづくりの目標5_人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ】

施策 5-9_国際化の推進

基本計画		事業番号	細事業名称
5-09-02	多文化共生社会の推進	10574_02	新居浜ユネスコ協会活動事業補助金
5-09-03	国際化を進める体制づくり	02577_01	国際交流協会運営事業

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	10574_02		
事業名(行目名称)		ユネスコ活動推進事業費	細事業名	新居浜ユネスコ協会活動事業補助金			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	国際化の推進			
	基本計画	多文化共生社会の推進	担当課	社会教育課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市民	数値	117,439人(R3.3.31現在)			
	手段(どうやって)	新居浜ユネスコ寄席・平和の鐘を鳴らそう・書き損じハガキの回収(世界寺子屋運動)・国際理解・交流セミナー等々、平和の文化実践活動を通して所期の目的の達成を図ってきた。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	「戦争は人の心の中に生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。」というユネスコ憲章に精神に則り、国際理解を深め平和と教育文化を重んじる事業・活動を推進する。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	認定補助金 95	
経費		100	95	95	95		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	100	95	95	95		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
ユネスコ協会活動事業数(件) (定例会、総会等は除く)		目標値	0	3	3	3	0
		実績	0	2	1	2	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや低い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>令和3年度は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、「新居浜ユネスコ寄席」は中止とした。「平和の鐘を鳴らそうユネスコ部パネル展」は規模を縮小し、感染対策に十分に気を付けながら実施した。今後は、こんな時だからこそできる事業として、市民の方に向けて、ユネスコ協会の活動を知ってもらおうパンフレットの作成を考えている。また、例年発行している「ユネスコ新聞」の発行も予定している。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
<p>今年度も新型コロナウイルス感染予防のため、計画通りの事業を行えていないが、ユネスコ精神の普及徹底と平和への意志を高揚させるため、地域社会の文化向上に資する活動を計画し、実施していく。</p>							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和3年度)		D:事業の統合・休廃止を検討				
<p>令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い「新居浜ユネスコ寄席」事業は中止、「平和の鐘を鳴らそう」事業は規模を縮小しての開催となった。また、例年発行しているユネスコ新聞の発行、市民の方に向けてのユネスコ協会の活動を紹介したチラシを作成した。来年度は補助金の予算措置が叶わなかったため本事業は廃止とする。</p>							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2021	02577_01	
事業名(行目名称)		国際交流協会運営費		細事業名	国際交流協会運営事業		
総合 計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策	国際化の推進		
	基本計画	国際化を進める体制づくり		担当課	地域コミュニティ課		
II 事務事業の実施概要							
事務 事業 内容	対 象(誰・何を)	市民			数値	118,521人	
	手 段 (どうやって)	任意団体である新居浜市国際交流協会を市の補助金により運営、事業を委託していく。市としては国際交流員人件費及び協会事務所内の機器の整備費用等を負担することで、財政的な支援を行う。					
	目 的 (どんな状態にしたいのか)	地域に根ざした国際理解及び国際交流に関する活動を通じて、市民の国際化意識と国際認識の向上を図り、多文化共生できるコミュニティの実現と世界に開かれた地域社会の発展に寄与することを目的とする。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		9,901	11,592	11,592	10,011	国際交流員関係経費 5,086千円 国際交流協会運営補助金 3,586千円 国際交流協会事業委託料 1,325千円 外国人受入環境整備事業委託料 761千円 国際交流協会事務所内機器整備費用等 824千円 その他 10千円	
財源	県・国支出金	0	626	626	468		
	地方債		0	0			
	その他	3,349	3,348	3,348	3,349		
	一般財源	6,552	7,618	7,618	6,194		
IV 指 標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
外国人対応実績			目標値	12	12	12	12
			実績	94	113	43	72
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	重点化する				
2019年度から国際交流協会に外国人相談窓口を設置し、外国人の窓口一元化を図ることができている。協会の知名度が低いことから、様々な情報媒体を用いた広報をさらに推進していく必要がある。2021年度は外国人受入環境整備事業により、翻訳機の設置や窓口広報のチラシ・ポスター制作を行い、第2日曜日にベトナム人による外国人相談窓口を設置している。 コロナ禍により事業が延期・中止・オンラインによる実施に切り替えたものも多く、今後はコロナ禍においても実施可能な方法を考えていく必要がある。 英語・マレーシア語だけでなく、日本語も堪能な国際交流員の任用により、翻訳及び相談への対応がスムーズになり外国人支援に非常に成果が上がっている。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
今年度予算をベースとしつつ、地域に根差した国際理解及び国際交流に関する活動を通じて、市民の国際化意識と国際認識の向上を図り、多文化共生できるコミュニティの実現と世界に開かれた地域社会の発展を目指し、国際交流事業の充実を図りたい。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和3年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
2022年度に新居浜市国際化基本指針を策定し、多文化共生のまちづくりを目指すための方向性を確立した。在住外国人の増加も見込まれ、本市国際交流協会及び国際交流員の担う役割が今後さらに重要となってくることから、市民の国際化意識と国際認識の向上を図るとともに、多文化共生できるコミュニティの実現と世界に開かれた地域社会の発展に寄与するために今後も継続して事業に取り組む必要がある。							